

第1回 光町まちづくり



・市町村合併のアンケート等について、できるだけ多くみんなの意見を聴いてほしい。

・東陽病院存続については、100人会議のようなシンポジウム等の場で議論していただきたい。

・保育料等町民の負担が合併によって増額になるのではないかと心配である。

・光インターチェンジを「核」とした光町の産業・農業についての計画等随時教えてほしい。

・市町村合併後の新市の名称の決め方については公募



みなさんからの意見

等を実施し段階的に絞り決定していただけるよう提言してほしい。

・合併の枠組みについて、新しい時代を展望すると、生活圏が同じ横芝町を含めた広い範囲の合併を考えてほしい。

・合併により新市名称になると名称付け替え等様々な面で経費がかかると思われるので、無駄な経費がかか



らないよう考慮してもらいたい。

以上のようなご意見をいただきましたので、今後、

合併に向けて町として提言していきたいと思います。

将来構想については、新市へゆだねていく予定であること、また、より多くの皆さんから意見を聞くため、町内全世帯に合併に関する意見・要望調査（8月号広報紙に折り込み）を実施することについて説明し終了しました。



第1章 50年の総仕上げ

1. 住民参加のまちづくり

(1) 光町まちづくり100人会議の設置

新たに「光町まちづくり100人会議」を設置し、光町50年の総仕上げのため行政サービス全般にわたる総点検と地方分権時代にふさわしい将来ビジョンを検討する。

2. 均衡のとれたまちづくり

(1) 第13次3か年計画の見直し

住民サービスにおいて、町内全般にわたり総点検を行い、必要な措置を講ずる。

◆職住接近の安定した仕事を持ち、皆が安定して暮らすことのできるまち

☆光インターチェンジを核とした商業・農業等の産業振興計画の策定
☆「文化」をキーワードとし、若者の集まる魅力あるまちづくり

◆教育、文化、スポーツの花開くまち

☆学校、社会教育の充実
☆文化行政の充実
☆スポーツ施設の充実

◆親が安心して子どもたちを生み育てることの出来るまち

☆育児、保護環境の整備・充実
☆自然環境の保護・強化

◆高齢者が生き生きとして元気なまち

☆社会貢献事業への参加奨励
☆ふれあい事業の充実
☆安心できる介護制度の整備

◆住民どうしのふれあいや助け合いなど絆の強いまち

☆住民の交流機会の拡充
☆扶助組織の育成

◆安全で郷土愛の高いまち

☆安全確保のため組織間の連携強化
☆郷土の文化、伝統の継承支援の強化
☆東陽病院の経営改善と信頼回復

3. 光町閉町式典の開催

4. 町制施行50周年記念事業

第2章 新市の立ち上げ

1. 21世紀の新しいまちづくり

(1) 新しいまちづくりへの提言

今までのまちづくりを振り返りつつ、今後50年の地域社会の有様を展望し、21世紀の自分たちの地域をどのようにするのか提言する。

2. 新しいまちづくり50

(1) 新市建設計画に組み入れるべき各種施策の検討

・健康で生きがいのあるまちづくり
・うるおいのある快適なまちづくり
・活力に満ちたまちづくり
・自然を生かしたまちづくり
・豊かな人間性を育むまちづくり
・地域基盤の整備されたまちづくり

プロジェクト
光
50

まちづくり最終章・
ふるさと光